

韓国家庭料理 **아리랑** RESTORANT **レストランアリランの オススメの一品! ランチ食べ放題**

ランチ食べ放題 1,000円!

新しく始まった「ランチ食べ放題」は毎月2回、第2・4の火曜日。韓国料理の定番メニューがずらりと並びテーブルをのぞいてみると、海苔巻きをはじめ、チャプチェ、トッポギ、プルコギ、そして何種類ものチヂミやナムル、キムチなどが見えました。

この日は、お楽しみメニューとして、たい焼きもおいてありました。スープ、サラダ、デザートもあり、コーヒーやウーロン茶、オレンジジュースなどのソフトドリンクも飲み放題となっています。

普段のランチでは一、二品しか試せない韓国定番のメニューを一気に味わえるなかなか素敵なランチメニューになっていますので、ぜひおすすしめします。



アリランの「ランチ食べ放題」は毎月第2・第4火曜日、1,000円です!

- ★10月から12月の「ランチ食べ放題」予定日。
- 10月9日・10月23日
 - 11月13日・11月27日
 - 12月11日・12月25日

2012年10月までのその他の活動

夏休み子ども韓国語教室



夏休み恒例の子ども韓国語教室が8月16日から18日の3日間にわたって行われました。今回はじめて韓国語を勉強したお友だちも3日間のプログラムが終わると、韓国語で自己紹介ができるようになり、ハンゲルで自分の名前も書けるようになりました。韓国語の勉強だけでなく、チャングをたたいたり、コンノリで遊んだり、韓国語の歌をみんなで元気よく歌ったりもしました。YMCA ではこれからも子どもたちのための楽しいプログラムを企画しますので、皆さんぜひまた参加してください。

関東大震災第89周年記念追悼合同早天礼拝

関東大震災の翌年に行われた追悼祈禱会に起源をもち、2001年からは日韓のキリスト者が共に集って毎年行われている関東大震災追悼合同早天礼拝が、今年も9月1日の朝、東京YMCA、東京聖市化運動本部との共催により、60名近い参加者を集め、本会9階ホールで開催されました。



金迅野牧師（在日大韓基督教会横須賀教会）より「越境する魂へのレクイエム」と題したメッセージをうかがい、89年前に起きた朝鮮人虐殺の悲劇をあらためて思い起こし、過ちを決して繰り返さないと深く心に刻みしました。

日本語学校10月期入学始業式



10月11日、YMCA 東京日本語学校の2012年度10月期入学・始業式が本会スペースワイホールにおいて行われました。学生たちは10をこえる様々な国・地域から集まっており、日本語学習の動機も目的も実に多様ですが、このYMCAの日本語学校でこれから共に学び、お互いに励ましあいながら、それぞれの目標実現に向けて努力していくことを、式を通して確認しました。

入学式の後は会場を9階ホールに移し、新入生歓迎会、そして新入生と継続生との交流会が行われました。はじめは緊張していた新入生たちも、先生や先輩たちから歓迎や励ましの言葉を聞き、すぐにリラックスしてきたようでした。

今後の予定 2012年10月～12月

- 【東京韓国YMCA】
- 10/19(金)第3回会員活動委員会
 - 11/5(月)第224回教界指導者朝餐祈禱会
 - 11/15(木)YMCA/YWCA合同祈禱会(東京)
 - 11/17(土)Yわいフェスティバル2012 / YMCAバザー
 - 11/22(木)第5回チャリティーゴルフ
 - 11/26(月)～27(火)教会者一泊協議会
 - 12/9(日)YMCAクリスマスの夕べ
- 【関西韓国YMCA】
- 10/22(月)第2回事業開発委員会
 - 11/15(木)YMCA/YWCA合同祈禱会(大阪)
 - 12/8(土)生野区民クリスマス(生野地域活動協議会)
 - 12/8(土)関西韓国YMCA会員クリスマス会
 - 12/14(金)～16(日)南北コリアと日本のともだち展(大阪)

YMCA 東京日本語学校学生募集中

- ＜編集後記＞
- 自販機であたたかい缶コーヒーが恋しい季節になりました。でもまだ入れ替わってない。日本の秋は急すぎます。(林)
 - 新連載のために行った新大久保。実は食材スーパーが一番テンションあがりました。これを使ってアレコレも食べたい…あつ、そういや僕は料理が得意…(才)
 - 学生の頃、キャンプや土曜学級で共にリーダーとして活動した仲間一人がこの夏、天に召されました。彼女をはじめとする仲間たちと熱く語り合い、共に汗を流した、あの頃の思いをこれからも忘れずに働き続けようとおらためて心に誓いました。(た)
 - 今回から編集に携わるようになりました。よろしくお祈りします!(U)
 - 引越し準備中、授業準備中、とにかく何かしている中。(白)

KAKEHASHI かけはし 2012 Oct. vol.9
 発行人: 金秀男 発行: 在日本韓国YMCAアジア青少年センター
 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5
 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
 http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/
 ayc@ymcajapan.org

『かけはし』次号は**2013年1月**発行予定です。
 ツイッター@zainichiyymca フェイスブック Korean YMCA in Japan
 より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。

YMCA 在日本韓国YMCA
 アジア青少年センター
 Korean YMCA in Japan
 Asia Youth Center

かけはし

建国大学で学ぶ韓国語2012 (7月29日～8月4日)

おのおのまさお
大野雅文 (YMCA韓国語講座会員)



昨年に続けて(建国大学で学ぶ韓国語2012)に参加しました。10名が参加し、内4名がリピーターです。7月末から5日間、二人の先生が一日おきに担当し、朝9時から毎日4時間の授業です。受講生の年齢は幅広くレベルも様々でしたが、それぞれのレベルに合わせて対応してくれました。



韓国語だけの授業の内容ですが、パンマル、買い物の場面、トロットの歌等、実践的で面白く発音にこだわりながら分かりやすい言葉で教えて頂き良く理解することができました。

韓国リンナイ主催の料理教室にて 課外授業の料理教室では建国大学の学生と安東チムタクとチャプチェを作ったのも良い思い出です。

ソウルの東部に位置する建国大学は、美しく広いキャンパスに銀行、郵便局、学食、コンビニ等があり、近くにはデパートや安くて旨い飲食街もあって便利に楽しく滞在することができます。寄宿舎は二人部屋を一人で使い、清潔で安全で快適でした。



自分で宿を探す手間がなく現地集合、解散なので前後のスケジュールが自由に設定できるのも参加を決めた理由です。

引率の白宣基先生にいつもサポートして頂けたのは心強かったです。熱心で上手な教え方に感激し、短期間ですが現地の生活に触れ、久しぶりに学生気分を味わえました。一緒に参加した皆さんにも感謝しております。



建国大学言語教育院入り口にて

聖書に聴く 第9回 李相顕 牧師(イ・サンギョン KCCJ西部地方会地方牧師、在日韓国基督教会館協力幹事)

私の日本での生活はYMCAの日本語学校から始まりました。日本語学校は多くの国からの方々から日本語を学び、日本語を用いて互いに自分の考えを述べて、自由に話し合える場でありました。日々のお出合いは、新しい発見と学びがあり、楽しく、日本での心細さと寂しさを忘れさせてくれました。国と言葉と宗教を超えて、一人の人間として、自分の考えと意見を自由に話し合う雰囲気は、はじめての体験として大きな刺激となりました。その経験が、その後の自分の歩みに大きな影響を与えたと言っても過言ではありません。教会に導かれたことや日本の生活に導かれたことをはじめとする自分の人生の節目には、多くの出会いを通しての神さまの働きがありました。

による福音書2:27)と、大切なものが何であるのかを教えてくださいました。

使徒パウロの観点も食物に関すること(コリント信徒への手紙一8:1-13)などで示されるように、その判断基準は人に対する配慮であったと思います。「わたしたちを神のもとに導くのは、食物ではありません。食べないからといって、何かを失うわけではなく、食べたからといって、何かを得るわけではありません。」(8節)「それだから、食物のことがわたしの兄弟をつまずかせるくらいなら、兄弟をつまずかせないために、わたしは今後決して肉を口にしません。」(13節)

イエス・キリストの教えや使徒パウロの告白など、聖書のみ言葉には人に対する愛と配慮がその中心にあると思います。イエスは、安息日に弟子たちが麦の穂を摘み、ファリサイ派の人々から「なぜ、彼らは安息日にはしてはならないことをするのか」(マルコによる福音書2:24)と言われたとき、「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない」(マルコ

毎日の出会いと神さまの導きを楽しみにしながら、生かされることは感謝と恵みであると告白せざるを得ません。在日本韓国YMCAが出会いの場として、主の働きと導きがありますようにお祈りいたします。

新連載 東京の中の韓国を巡る【第1回】 才門勇介(「かけはし」編集委員)

今号から始まる「東京の中の韓国を巡る」第1回は、東京の中の韓国といえば外せない「新大久保」に行ってきました。駅で電車を降りるとすぐほのかに食欲をそそるいい香りがしてきます。なかなか行く機会がなくて久しぶりに新大久保に降り立ちました。一時の韓流ブームが終わって街も落ち着きを取り戻しているだろうなど思いながら駅を出ると、平日昼間にもかかわらず結構な人の多さにびっくりです。しかも韓流ブームのイメージのオバサマばかりではなく若い子も多く、そういえば通日も最近出来たような化粧品やアイドルグッズショップが賑わいを見せています。



新大久保のコリアンタウンの中心は駅を降りた前にある通り(大久保通り)とその一本新宿寄りの通りです。そのエリアに韓国料理店や韓流ショップ、韓国スーパーなどが点在し、また、その

おいしそうな匂いのなかでブラブラしているうちに、一段といい香り、と思ったらテイクアウト専門の屋台のようなお店の前でみんなが何かを食べています。もう耐えられませんという事で並んで買って立ち食いです。

「トッポギ」と「ホットック」。独特の甘辛いトッポギをひげ茶を飲みながら食べるとまさに韓国気分を味わえます。その後は適当に入ったお店でサムギョプサルを食べ、ブラブラ街を散策し、韓国食材のスーパーでえごまの葉を買って帰りました。すぐ手軽に韓国気分、ランチにもデートにも、新宿からも歩ける距離で、これから僕の定番の一つに決定です。



通りをつなぐ何本かの道にも韓国料理店、POPな服や化粧品、雑貨の店が並び、なんとなくミニ明洞みたいな雰囲気です。イケメン喫茶店などの文化の発信から、韓流アイドルグッズショップなど、その流行に敏感なものも特徴で、活気に満ちあふれています。ランチ時間であった事もあり、どの店も並んでいます。しかも、どれもおいしそうで、新大久保初心者にはなかなか決められません。



これがトッポギ

こちらはホットック

YMCAバザー〈わい・わいフェスティバル〉

2012年11月17日(土) 11:00 ~ 15:00



毎年恒例のYMCAバザー〈わい・わいフェスティバル〉が今年も11月17日(土)に開催されます。

恒例の韓国食品市、掘り出し市(献品市)、古本市、日本語学校の学生による民族料理屋台、韓国の民俗音楽演奏(チャング・カヤガム)、東京・ソウル往復航空券が当たる大抽選会など盛りだくさんのイベントをご用意しております。

更に今年は、新鮮なりんごやきのこ、じゃがいもなどの販売や、被災地特産品販売コーナーと題して岩手県宮古市の特産品である「いか煎餅」などの販売も行います。



バザーの収益は、日本語学校留学生の奨学金や、多文化共生を目指す諸団体の活動への支援、また東日本大震災被災地復興支援のために捧げられます。

募集

- 掘り出し市、古本市で販売する献品を受け付けております。
- 11月17日当日及び前日の16日にお手伝いいただけるボランティアを募集しています。

ご協力いただける方はYMCAスタッフまでご連絡下さい。

2012年7月~9月のプログラム

東京韓国YMCAの活動 2012年7月~9月

舞う・踊る4ヶ国の文化祭(9月29日) 東京韓国YMCA韓国舞踊クラス

山梨県・ふじさんホールで開催された「舞う・踊る4ヶ国の文化祭」に私たち韓国舞踊クラス(指導:姜芳江先生)が参加を致しました。

スペイン・日本・ハワイ・韓国の舞踊が一度に観られるという事もあってか、入場券は予定枚数以上が配布され、開場時間前には入場待ちの列まで出来る盛況振り。収容人数の多さと広い舞台に困惑気味だった私たちは、その話を聞き更に増したプレッシャーと緊張感に負けないように、精一杯の笑顔で舞い、踊りました。

そして終演後は、それぞれの舞踊について熱く語る皆さんから刺激を受け、学ぶ事もあり貴重な異文化交流の場となりました。

今回、4ヶ国の伝統舞踊が一堂に会する素敵な舞台に立てた事は、とても良い経験でした。私たちはプロではないので、失敗も多いし技術不足も否めません。でも、楽しく前向きな気持ちで手抜きをせずに踊る事は出来るのです。時間を割き観に来て下さる方々に対する礼儀として、その努力だけでもするべきだ、と気付く機会を得た事にも感謝しております。

(松本優子・韓国舞踊クラス)

左と右:ブッチェチュム、中:サルブリ



関西韓国YMCAの活動 2012年7月~9月

生野地域活動協議会イベント 神田香織独演会『チェルノブイリの祈り』

関西韓国YMCAもメンバーとなっている生野地域活動協議会が開催した『神田香織独演会-チェルノブイリの祈り』が9月16日(日)、玉造にある大阪クリスチャンセンターで行われ来場者は110人を数えました。

神田香織さんは福島県いわき市の出身ということもあり、福島原発を意識しながらこの『チェルノブイリの祈り』を講談で10年前前から伝えてきました。各地で公演をされていますので、皆さんも機会がありましたら是非足をお運びください。

(金弘明 キム・ホンミョン)

私は初めて神田さんの講談をお聞きし、感動と戦慄を同時に覚えました。90分間、情報がほとんど耳から入ってきます。チェルノブイリやフクシマの情景が頭の中に浮かび、神田さんの言葉と声色で被害を受けた人たちが語りだし、苦しみ、つらさ、嘆き、絶望がストレートに伝わってきます。避難を拒否した人、原発の建屋と原子炉が崩壊した直後に消火にかけつけ死亡した消防士と残された妻、今も行方不明者を探し続ける人。



講談師の神田香織さん

原作はチェルノブイリの原発事故の被災者のインタビュー集です。福島原発事故を25年前にさかのぼる1986年のチェルノブイリの物語です。

韓国民俗芸術科2学期開始 メンバー懇親会バーベキューパーティー

9月4日(火)から定例プログラム韓国民俗芸術科の2学期が始まりました。

そして第1週の土曜日9月8日には、チャンゴクラスの練習終了後夕刻よりメンバーの交流と親睦を深めるため、会館1階玄関前にてバーベキューパーティーを行いました。

韓民芸科メンバーとその子供たちの他に、5月のフェスティバルで音響・照明を担当して下さったスタッフにも来ていただき、元メンバーが幼子連れで参加し、オリニクラブの子供も合わせて子供9名、大人21名が楽しいひと時を共に過ごしました。

3年毎に開催されるフェスティバルを終えて新しいメンバーも迎え、先生始めメンバー一同さらに芸に磨きをかけようとの意気込みも新たに練習を再開しました。

(小林利子)